

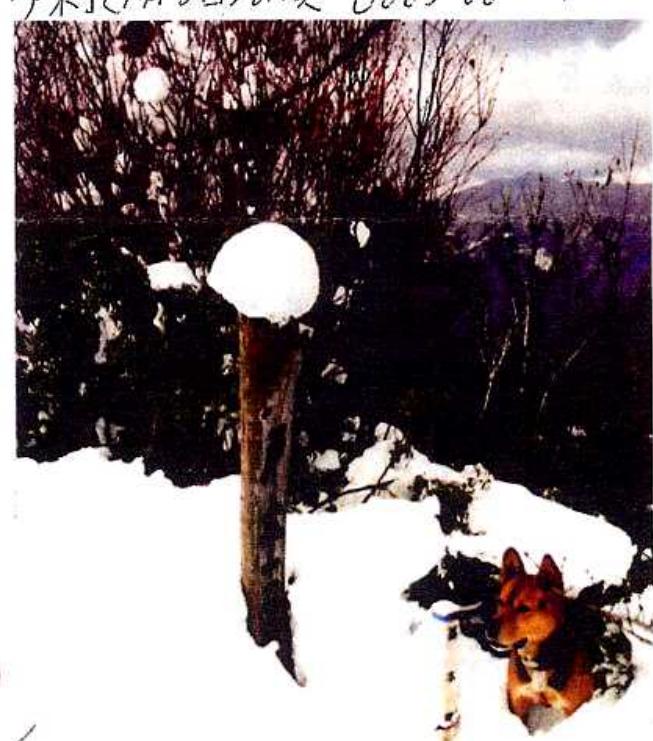


09.1.No140
発行市岡日出
0883-88-5292

新年あけましておめでとうございます。
皆様、お元気で新しい年をお迎えのこととお
ります。

祖谷地元は、雪の正月でした。この冬三回目の雪で、元日は30cmも積もりました。二日も固雪まじりの雪がふきました。冬は冬眠と決め込んでいました。夜には懶つても新しい年のスタートになりました。とにかく、今年もこんな新聞『活劇祖谷村』をよろしくご指導の程お願い申し上げます。『えべの会』結成十周年『活劇祖谷村』船立4年目を迎えることになりました。一年一歩一歩のゆっくりした歩みですが、確実に足跡を残してきました。

今年も、左記写真のとおり、大雪を作製し、帰宿にて皆さんをお迎えすることができました。もう十四枚目となる大雪。今は、年末始の恒例事業となりました。



絵を画くことから、国道沿いに設置を予定時と、協力して下さり、参加して貰って、「昔の様でした。今年も祖谷を拝みます。昨年の一字は「変」だという事です。アメリカでは次期大統領に必ずオバマさんやマッケーレーが大変になるのかと期待が高まっています。我が祖谷でも変っていくのかな」とかと山は、茅葺き家根の保存復活の動きが進みます。その中でも茅刈り作業については変化の兆しかりあります。

ミニナチュラリ、ちりありと高橋ぐらじが細々と茅刈りをやってましで、落合重伝氏のメンバーの皆さんが連日茅刈りをしたり、ミニナチュラルの方たちがはいりよくうが、自分達の住む祖谷に目を向けられたことは、今後に大きな期待がとてきています。



今まで、名頃地区の「かかしの里」を作りにも多くの人が参加し、かかしを作り、各町が座っています。中心地である名頃の今後の発想行動が多く人の心に響いたといえるもので、大切に取り組みたいのです。

地域再生事業も二年目に参ります。実験的体験がどの様に生まれるのか、民泊にむけたモテ作り、茅葺きの技術の講習などの動きがあり、そぞろ山の取り組みにどれだけ多くの出来事が大切にできそうです。まずは見えて来動けば先は見えて来るときをうが。すのび、今年も一歩ずつ歩